

●大会運営に関する取り決め事項（卓球）

＜開催要項＞

- 1. 競技規則  
本大会は本年4月1日現在、公益財団法人日本卓球協会ルール及び同細則に準拠し、一部特別ルールを適用する。
- 2. 競技方法
  - (1) 競技種類 男女個人戦及び男子団体戦のみとする。
  - (2) 競技方法及び組み合わせ  
個人戦、団体戦とも、参加人数、参加チーム数に応じて、本部にて定めるものとする。  
1日目は団体戦、2日目は個人戦を原則とする。
- 3. チーム構成
  - (1) 個人戦の登録  
個人戦の名簿の提出は、学年を問わず必ず実力順に記載する。
  - (2) 団体戦の登録（男子のみ実施）  
団体戦の登録選手は3名以上、最大6名以内とする。
- 4. 大会使用球及び用具・服装等
  - (1) 大会使用球は、日本卓球協会公認プラスチック 40mm 白ボールとする。
  - (2) 試合中の服装は、半袖シャツ、短パンを原則とする。白色のユニフォームは原則禁止とする。
  - (3) 試合場内で靴を履いていない者は棄権とする。
  - (4) ゼッケンは必ず着けてからコートに入る。
  - (5) ラケット及びラバーについては、4月1日現在の日本卓球ルールに準拠する。
  - (6) ゼッケンのサイズは縦 18cm 横 25cm を基準とする。選手氏名、県名、学校名を明記すること。  
※日本卓球協会配布のゼッケンでもよい

＜大会特別規定＞

- 1. 競技上の注意事項
  - (1) 試合中のタイムアウトについては、本大会では適用しない。
  - (2) 個人戦及び団体戦のアドバイスについてはゲームとゲームの間の1分間のみとする。
  - (3) 故意に大きな音をたてる行為は禁止とする。
  - (4) 故意による遅延行為は禁止とする。
- 2. 審判に関する事項
  - (1) 個人戦：第1試合のみ本部で審判の依頼を行い、その後は敗者が次の審判を行う。
  - (2) 団体戦：対戦校同士でお互いに審判を出すこと。（勝者チームが試合結果を報告するものとする。）
  - (3) 1ゲーム
    - ① 1ゲームは11ポイントを取った競技者または組の勝ちとする。
    - ② サービスは2ポイント毎交代。10-10となった場合、その後2ポイント差とした競技者が勝ちとなる。
    - ③ 10-10となった場合は、以降のサービスは1ポイント毎の交代となる。
    - ④ ゲームとゲームの間の休憩は1分以内とする。
  - (4) 1マッチは3ゲームとし、2ゲーム先取した競技者の勝ちとなる。促進ルールは適用しない。
  - (5) 団体戦の試合方法は次のとおりとする。  
男子団体戦は男子3名以上による5シングルで試合を行う。

順 序	1	2	3	4	5
番号の若いチーム	A	B	C	A	B
番号の後のチーム	X	Y	Z	Y	X

※同じ選手が2度対戦しないように注意する。4. 5番については登録してある別の選手でも良い。  
※女子の団体戦は行わない。

- 3・その他（コロナ感染対策として）
  - ① 卓球を行っていないときや、会話をする際にはマスクを着用する
  - ② 会場で大きな声で会話、応援等をしない
  - ③ チェンジエンドは行わない
  - ④ ダブルスは行わない
  - ⑤ ゲーム前のウォームアップ、4人のクロスは行わない。1台2人のみとする。
  - ⑥ 得点板は必ず手袋を着用する（本部より支給）
  - ⑦ タオルの共用はしない
  - ⑧ 飲料の回し飲みはしない
  - ⑨ 卓球台の上で手を拭かない
  - ⑩ シューズの裏で手を拭かない
  - ⑪ 握手などの身体を接触させる挨拶は行わない
  - ⑫ ラケット交換は行わず、自分のラケットを持ったまま両面のラバーを相手に見せる
  - ⑬ 試合会場は、当日密を避けるため、入場制限を行う
  - ⑭ 表彰及び賞品の授与は行わない。